



2017 春 始動!

八戸名物・館鼻岸壁の“朝市”
冬期休業を経て再開され、
早朝から多くの人で賑わっている。

- 組合員企業「わくわく交流会」開催!
- 男性社員交流会「料理教室」開催!
- 経営研究会と支店長・所長連絡会の合同交流会 開催
- 平成28年の交通事故発生状況
- 「次世代リーダー育成セミナー 成果発表会」開催
- 平成29年度 教育研修実施計画

「卸センターわくわく交流会」(旧ガレージセール) 開催!

地域交流委員会(橋本博文委員長/株橋文)では、昨年、組合員従業員を対象に展示即売会や企業PRを通じて親睦交流を図る「ガレージセール」を実施した。今年はこの名称を「卸センターわくわく交流会」と改め、平成29年2月2日(木)、3日(金)の二日間、卸センター会館展示場を会場に開催し、期間中600名を超える方に来場いただいた。

出店組合員は昨年より2社増えて17社となり、そのうち物品販売した企業は12社、企業及び商品PRのみ行った企業は5社であった。

来場者は思い思いに各社のブースを回り、品定めをしたり、展示品や掲示物を見ながら担当者と会話するなどイベントを楽しんでいた。

出店者からは、「組合員同士のお付き合いができて良いイベントだった」、「団地外へのPRなど集客アップの施策があれば参加企業も増えるのでは」といった感想が寄せられた。



会場の様子

今年は平日2日間の開催となった。



真冬日となった初日は株館山さんが提供する「たい焼き」が飛ぶように売れていた



初参加となった(有)ゴルフショップグループさん。パターやライ角のフィッティングが好評だった



中居食品容器株の中居専務によるコピーバンド「スピッチュ」のライブで会場は和やかな空気に包まれた

組合員新年会 開催

組合員新年会が平成29年1月12日(木)午後6時より八戸ワシントンホテルで開催され、来賓・組合員合わせて75名の方に参会いただいた。

開会に当たり橋本昭一理事長は「八戸市は1月1日から中核市に移行し、周辺7町村と連携中枢都市圏を形成し圏域全体の活性化を目指している。こうした地域の明るい機運、情報を事業活動に活かし、組合員各社はもちろん、近隣の各団体が共に発展していけるよう頑張っていきましょう。」と挨拶した。

次に、来賓を代表し青森県知事代理 青森県商工労働部部長 葛西崇様、八戸市長代理 八戸市副市長 大平透様より祝辞を頂戴した。

賀宴は、各テーブルを回って新年のあいさつをしたり、和やかに談笑する人たちで賑わった。



お酒を酌み交わし、新たな年の幕開けを祝う参加者

学生向け就職説明会への参加

企業活性化委員会(橋本敦委員長/河内屋金物株)は「共同求人活動」の一環として、地元の八戸学院大、八戸学院短大が主催する就職説明会について組合員へ情報提供を行ったところ、5社が(うち1社は独自で)参加した。

この説明会は、平成30年3月卒業予定の大学生らを対象とする企業の広報活動が3月1日に解禁されたことを受け、3月8日(水)に開催されたもの。

人手不足による「売り手市場」が見込まれる状況を反映し、当日は約150名の学生参加者に対し、企業側は前年より18社多い70社(内訳は企業・団体48社、同短大の看護科学生を対象とする医療機関22施設)が参加。会場では、企業担当者の方から積極的に学生に声をかけ自社のブースへ誘導する姿も見られた。



学生に企業概要や仕事内容を説明する中村さん(エスティイー株)

男性社員交流会「初級料理教室」開催！

人材育成委員会（森越安雄委員長／有タクミライス）では、料理を通じ卸センターで働く男性社員同士の交流・親睦を図る「初級料理教室（3回シリーズ）」を企画・開催した。

同教室は、2月15日（水）、同23日（木）、3月3日（金）の3回開催。参加しやすいよう1回ごと申込みを受け付けしたところ、第1回12名、第2回13名、第3回11名、延べ36名が受講した。昨年同様、会場は「はちえきキャンパス（八戸市八日町）」、講師は「澤井みち先生（澤井料理教室主宰）」。

参加者からは、「皆が協力的で和気あいあいでも楽しかった」、「交流を深める企画として良かった」「今後も継続して欲しい」といった肯定的な感想があった一方、「初級と聞いていたが難易度が高すぎた」、「各テーブルで手順が分からなくなると混乱する場面があった」、「レシピの分量が分かりにくかった」など今後の企画運営の参考となる意見も出た。



完成した料理に充実した表情を見せる参加者たち

～メニュー内容～

第1回（洋風メニュー）
たらこスパゲティ
パイヤベース
ポテトサラダ

第2回（中華メニュー）
エビチリ
焼き餃子
生春巻き

第3回（和風メニュー）
鮭いくら土鍋ごはん
ブリ大根・白和え
めかぶとエノキ茸のみそ汁



野菜の切り方を教わる様子



出来栄を写真におさめる

交流会（ヨガ教室・料理教室）アンケートより

平成28年度、人材育成委員会の主催による交流会参加者に実施したアンケートによれば、約8割の方が継続的に学びながら交流を深める講座があれば「参加したい」と回答。興味がある講座として「ヨガ」、「お金の教養」、「空手エクササイズ」、「料理教室」、「英会話」などが挙げられた。

経営研究会と支店長・所長連絡会の合同交流会 開催

経営研究会と支店長所長連絡会は通算3回目となる合同交流会を平成29年2月16日（木）に開催し、組合役員を含む32名が出席した。

勉強会では、八戸市屋内スケート場建設推進室室長の河原木実氏と八戸市美術館館長兼新美術館建設推進室室長の山田泰子氏をお招きし、八戸市が整備を進めている「屋内スケート場」と「新美術館」の計画概要や進捗状況について説明いただいた。

中心街に近い「屋内スケート場」は国内でも珍しく、国際大会をはじめとする大会利用はもちろん、中地を各種スポーツで利用できるほか、オフシーズンにはアリーナを開放し9,000人規模のイベントが開催可能となり、災害時には防災拠点としての役割も担うという。

また、平成32年後半の開館を目指す「新美術館」はアート・エデュケーション・ファームというビジョンを掲げ、「八戸の美」に迫る、「八戸の人」

を育む、「八戸のまち」に波及させるための施設を目指すという。

いずれの施設についても出席者の関心は高く、懇親会では各担当者をつかまえて新たな施設に対する思いを語り合う姿が見られた。



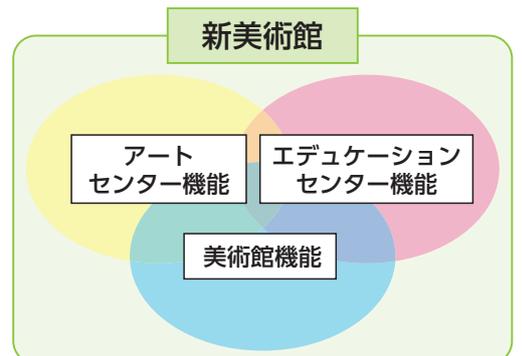
屋内スケート場の完成イメージ
（平成31年7月完成予定）



八戸市屋内スケート場建設推進室
室長 河原木 実氏



八戸市美術館館長兼
新美術館建設推進室
室長 山田 泰子氏



新美術館の事業展開イメージ

支店長・所長連絡会 親睦交流会 開催

支店長・所長連絡会（夏川戸齊会長／青森三菱電機機器販売㈱）では、3月6日（月）に平成28年度3回目となる親睦交流会を開催し、組合役員を含む17名が参加した。当日は「八戸せんべい汁研究所（通称 汁`研 / じるけん）」の所長である木村聡氏をお招きし、「汁`研流・市民が街を変える『ソーシャルデザイン』～街の魅力を発見・発信！地域が儲かる仕組みの作り方～」というテーマでご講演いただいた。

木村氏は地元の地場産業振興センターの職員として平成14年の東北新幹線八戸駅開業に向けた土産品開発をしていく中で「八戸せんべい汁」と出会い、平成15年に「八戸せんべい汁研究所」を旗揚げした。同研究所はせんべい製造業者や飲食店関係者は不在の「普通の市民」によるボランティア団体で、「八戸」を発信し、自分が暮らすまちを元気にしたいという思いで活動しているという。

このため休みの日を使って、県内外に出かけて行っては大規模試食会を開催したり、応援ソングCDを制作したり、平成18年には「第1回B-1グランプリ」を八戸で開催したりと話題づくりを仕掛けてきたそうだ。

こうした活動が実を結び、平成18年の認知度調査で2割弱にしか知られていなかった「せんべい汁」が平成26年では8割にまで押し上げられ、それにより「せんべい汁」以外の八戸の観光資源に対する認知度も全体的に引き上げられた。

木村氏は最後に「『天才』は『努力する者』に勝てず、『努力する者』は『楽しむ者』には勝てない」という座右の銘を紹介し、「まちおこしに終わりは無い！とにかく『楽しく』常に『遊び心』を忘れず自分達も楽しめることを続けていきたい！」とまちおこしへの変わらぬ熱い思いを語った。

参加者からは、「八戸生れだが話題になるまで実は“せんべい汁”を食べたことがなかった」、「改めて地元にも昔からあるものの良さに気付かされた」、「自分たちが暮らす街を本気で良くしていきたいという気持ちに感動した」、「会社の部下や若い人たちにも聞かせてあげたい内容だった」などの感想が寄せられた。



八戸せんべい汁研究所
所長 木村 聡氏



八戸せんべい汁研究所のロゴ

経営研究会 例会 開催



(上) グループ討議の様子

(下) 勉強会の後、レイアウトを変え
大会議室が懇親会場に！



経営研究会（鴨澤論会長／鴨沢塗料㈱）では、3月の例会を前に会員に対し「組合の委員会・関係団体の活動について」のアンケートを実施した。アンケートによれば、委員会では「環境対策」や「地域交流」に対する評価・満足度が高く、事業としては平成28年度に初めて実施した「インフルエンザ集団予防接種」の評価が最も高くなった。

これを受けて3月24日（金）に同会の今年度最終となる例会（参加者15名）を組合会館大会議室で開催し、「組合各事業活動の現状と今後への提言」というテーマで初めての試みとなるグループ討議を実施した。

討議後、グループ単位で意見を発表してもらったところ、

- ・委員会など組合に関わる集まりが多いため、効果が薄いものはやめる、似たものはまとめる、または担当する委員会を一人一つにするなど検討して欲しい。
- ・各事業・行事に参加できる企業は限られるので、基本的にご利用するところが参加費を負担するようにして欲しい。
- ・組合との接点がない立場だと組合の催し・イベントを知る機会が少ないので伝達方法を工夫して欲しい。
- ・マネージャークラスの交流会も実施して欲しい。
- ・いろいろなことを相談しやすい事務局を目指して欲しい。

などの意見や提案がでた。

組合では、これらの意見に加え、例会前のアンケートで寄せられた要望・提案等も踏まえ、今後の事業活動に活かしていきたい。

勉強会の後は、引き続き同じ会場を使い、買い出ししてきた食事と飲み物を自分達で並べ、ゆったりと歓談した。

組合員情報

■組合員の加入 ①パナソニックコンシューマーマーケティング(株)

昨年11月に団地内へ事業所を移転し、新たに組合員となったパナソニックコンシューマーマーケティング(株)。八戸サービスステーションの佐々木^{ささき}巧^{たくみ}所長より会社と団地内事業所の概要について以下の通りご回答頂いた。

理念	お客様に商品とサービス、ソリューションをご提供し、「夢や喜び、そして深い感動」をお届けします。		
事業内容	パナソニックブランド家電商品の卸販売、および修理・サービス業務		
主力商品	ご家庭向けの家庭電化製品 太陽光発電から収納&水回り設備機器施工		
対象顧客	ホームセンター様などの生活業態店様と、Panasonicブランド商品をお使いの需要家様、法人様		
営業エリア	三八上北地区、岩手県北地区	事業所従業員数	20名
その他PR	家まるごとのパナソニック商品とそれらの販売・施工・メンテナンス・修理に至るソリューションを通じて、お客様の快適な生活の実現に貢献して参ります。		



パナソニックコンシューマーマーケティング(株)が入る
共同物流サービス第5倉庫棟

■組合員の交代 ②タック販売(株)←ハイテクウッド販売東北(株)

これまで組合員であったハイテクウッド販売東北(株)は、昨年12月にグループ会社のタック販売(株)に事業を譲渡した。このためタック販売(株)が組合員となり新たに業務を開始した。

①パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社

本社：大阪市中央区城見2丁目1-61 OBP パナソニックタワー
八戸営業所：八戸市卸センター1丁目13-15
TEL 0178-29-3025
事業内容：パナソニックブランド家電商品の卸販売、
および修理・サービス業務

②タック販売株式会社

本社：名古屋市中区正木4丁目2-31
八戸営業所：八戸市卸センター1丁目3-13
TEL 0178-20-4944
事業内容：原木、合板、木材加工品及び建築材料の製造、
加工並びに販売等

交通事故発生状況 (平成28年1月~12月)

交通事故の特徴 (平成28年1月~12月)

※対象エリア：卸センター一丁目、二丁目 (団地外の施設駐車場を除く) (件)

項目	特徴	H26年	H27年	H28年	前年差	構成比	
種別	人身事故	2	3	1	-2	7.1%	
	物件事故	22	24	13	-11	92.9%	
発生時期	12月・1月・2月(冬)	7	10	6	-4	42.9%	
	3月・4月・5月(春)	10	4	3	-1	21.4%	
	6月・7月・8月(夏)	3	10	4	-6	28.6%	
	9月・10月・11月(秋)	4	3	1	-2	7.1%	
発生時間	0時~7時	2	2	1	-1	7.1%	
	7時~9時	2	4	0	-4	0.0%	
	9時~12時	5	8	4	-4	28.6%	
	12時~17時	7	8	5	-3	35.7%	
	17時~19時	4	4	2	-2	14.3%	
	19時~翌0時	4	1	1	0	7.1%	
	分類不能	0	0	1	1	7.1%	
発生場所	団地内	路上	11	9	7	-2	50.0%
		駐車場内	10	6	3	-3	21.4%
	団地外(路上)	市道3・4・8	3	10	4	-6	28.6%
		その他	0	2	0	-2	0.0%
事故原因	安全不確認	11	16	7	-9	50.0%	
	ハンドル・ブレーキ等不適操作	4	1	3	2	21.4%	
	当て逃げ	3	4	2	-2	14.3%	
	前方等不注視	2	2	2	0	14.3%	
	安全速度不適	2	3	0	-3	0.0%	
	一時不停止	1	1	0	-1	0.0%	
	その他	1	0	0	0	0.0%	
合計		24	27	14	-13		

資料提供：青森県八戸警察署 八戸駅前交番

団地内事故件数は市道開通前の水準に！

交通安全協会八戸卸センター支部(中居雅博支部長/中居食品容器(株))では、昨年1年間の交通事故発生状況の取りまとめを行った。

左表は、平成28年1月~12月に卸センター一丁目、二丁目で発生した交通事故の特徴を集計したもの。

事故の合計件数は、前年に比べ13件減少し14件となり、市道長苗代卸団地線開通前の平成25年の19件と比べても少なくなった。(ただし、団地内に限ると平成25年8件に対し、平成28年は10件発生。)

季節別では、冬(12・1・2月)の事故が多かった。

時間帯別では各事業所の営業時間とも重なる「9~12時」、「12~17時」に事故が集中している。

発生場所では、市道開通以来、人身事故が多発していた団地東口から一つ目(盛運輸(株)およびジャパン建材(株)、丸大堀内(株)の間)の交差点での事故は「0」となった。昨年4月に道路の「停止線」、「中央線」、「止まれ」表記を見やすく改めたことが功を奏した。

事故原因別では、前後左右の安全不確認による事故が最も多くなっている。交差点付近は勿論のこと、駐車場に停車する際にも安全確認を怠らないよう気をつけたい。

市道長苗代卸団地線が開通して3年が経過し、交通量も落ち着いて事故件数も減少に転じたが、今後も引き続き交通安全にご協力をお願いいたします。



むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業 「次世代リーダー育成セミナー 第4回」成果発表会

1月25日(水)、むつ小川原地域・産業振興プロジェクトの支援を受け、昨年5月より4回シリーズで実施してきた「次世代リーダー育成セミナー」の最終回を開催し、16名が受講した。

これまで5月に第1回「問題発見スキル向上」、7月に第2回「問題解決力向上」、9月に第3回「指導育成力向上」というテーマで研修を実施してきた。

また、研修と研修の合間に受講者は研修で習得した手法を職場に持ち帰り、自分の職場の問題発見、原因の深掘り、解決策の策定、メンバーを巻き込んだ解決策の実施、効果確認に取り組んできた。

最終回となる今回は、午前中プレゼンテーションの講義を行い、午後からは受講者の直属の上司や代表者をお招きし、これまで各自が取り組んだ一連の問題解決の成果について発表会を行った。

研修後に実施したアンケートでは、「一つの成功体験を積んだことで自信が芽生えた」、「次の課題にも取り組みたいという意欲が湧いてきた」、「メンバーを巻き込んで問題解決に取り組んだことで、メンバーの意識も変化してきた」といった力強いお声をいただいた。

今後、各受講者がそれぞれ職場のリーダーとしての役目を果たし、さらには地域の未来を担うリーダーとして活躍されていくことが期待される。



成果発表会の様子



総括発表を務めた
株式会社
十和田支店
支店長 金入 康二 氏



決意表明を務めた
株式会社
共同物流サービス
営業・企画課
課長 枡沢 周介 氏

提案型営業力強化セミナー(2日間)開催

1月17日(火)、2月21日(火)の2日間で開催された産業能率大学の齋田真一講師による提案型営業力強化セミナーには、14名が参加した。

この研修では、顧客が望んでいることを自社商品・サービスで解決する提案を作成する「商談設計力」、顧客が本当に望んでいることを聞き出す「質問力」、顧客の課題解決に自社商品が役立つことを分かりやすく伝える「プレゼンテーション力」の向上を目指した。

齋田講師によれば、最も重要なのはお客様の役に立ちたいという思いであり、お客様と一緒に考えるという姿勢(共感)と能力(質問力)が大切とのこと。

参加者たちは商談設計シートの作成を通じ、自社の商品・サービスの機能やその利点を見つめ直し、それが顧客の課題解決にどう役立つのかを改めて考え、整理する機会になったようだった。



商談設計シートに沿って、「提案する商品・サービスの機能とその利点によって、顧客の問題や悩みがどのように解決され理想状態を実現できるのか」をメンバーに説明する参加者

参加者の声



株式会社 営業部
岩岡 慎雄 さん

「お客様は製品・サービスそのものではなく、それによる満足、価値を求めている」ということに気がきました。

また、お客様のことをどれだけ考えているか、知ろうとしているかという素直な姿勢のあり方が重要と分かりました。

明日からは、お客様との会話で「お客様が困っていること、不便を感じていること」を意識して営業に出かけたい。

参加者の声



株式会社 ロジスティクス・ネットワーク
竹内 博史 さん

1番印象深かったのは“傾聴”です。相手の気持ちを受け入れる受容力の活用方法を学ぶことができました。

また、今回学んだ問題解決力・原因追究力などは仕事上に限らず、プライベートでも応用・活用できることを実感しました。

今後は日々問題意識を持って、自身の営業力向上と人間力向上に取り組んでいきます。

平成 29 年度 教育研修 実施計画

(協)八戸総合卸センター主催の平成29年度教育研修講座(平成29年3月末日現在確定分)を下記の内容で開催しますので、自社の人材育成の場として是非ご活用ください。

No.	研修名・研修内容	対 象	研修機関・講師	開催日時
1	経営トップセミナー ■中小企業大学校仙台校とのコラボレーションセミナー (テーマ、内容は検討中)	経営者・ 経営幹部	中小企業大学校 仙台校	未 定
2	OJTを推進する！コーチングセミナー ■OJTを効果的に進めるためのビジネスコーチングスキルを学ぶ ①人材育成の基本 ②ビジネスコーチングのアプローチ ③メンバーの主体性を引き出すコミュニケーションスキル ④メンバーの個性に合わせたビジネスコーチング	管理者・ リーダー および その候補者	産業能率大学 (諸田 美佐 氏)	1日コース 5月13日(土) 9:00~17:00 (7時間)
3	平成29年度 新入社員研修 ■社会人として必須の内容を実習や体験を通して身につける ①組織を取り巻く環境を理解する ②フレッシュマンの心構え ③仕事の基本ルール ④職場で楽しく働くために ⑤ビジネスマナーの基本	新入社員 および 中途採用者等	日本マネジメント 協会 (會田 慶宏 氏)	2日コース 6月7日(水)~8日(木) 9:00~17:00 (7時間×2日間)
4	仕事の価値を高める！コストの「見える化」セミナー ■コストに対する意識を高め、改善する視点を理解する ①コストについて理解する ②コストの成り立ちを理解する ③モノのコストを見える化する ④業務のコストを見える化する ⑤仕事の価値を向上する(業務改善・生産性向上)	管理者・ リーダー および その候補者	産業能率大学 (神戸 正志 氏)	1日コース 7月12日(水) 9:00~17:00 (7時間)
5	女性活躍推進へ向けた職場づくり ■女性社員の私生活と仕事を支援するイクボスを目指す ①女性活躍推進の背景 ②女性活躍を推進する職場づくり 自職場の環境診断・「働きやすさ」の実現・「働きがい」への支援	女性社員を 部下に持つ 管理職 リーダー	産業能率大学 (佐藤 知央 氏)	半日コース 9月7日(木) 13:00~17:00 (4時間)
6	生産性を高めるミーティング術セミナー ■成果を高めるための効果的な会議のあり方を学ぶ ①会議・ミーティングの位置づけ ②効果的な会議を設計するための技術 ③生産性の高い会議を進行するための技術 (ファシリテーションスキル)	会議を開催 することが 多い方 会議の司会を することが 多い方	産業能率大学 (金田 良子 氏)	1日コース 10月5日(木) 10:00~17:00 (6時間)
7	2時間でわかる！コーチングセミナー ■部下のやる気と能力を引き出すリーダーを目指す ①ビジネスコーチングの考え方を理解する ②相手の主体性を引き出すビジネスコーチングの基本スキル (傾聴、発問)を学ぶ	管理者・ リーダー および その候補者	産業能率大学 (金田 良子 氏)	2時間コース 10月5日(木) 18:00~20:00 (2時間)
8	管理者養成セミナー ■業績向上と職場の活性化をめざす革新型的のリーダーを育てる ①管理者に期待される役割、行動原則の確認 ②組織と人を動かすコミュニケーション ③メンバー指導・育成(OJTの技術) ④目標達成のマネジメント ⑤職場の問題解決 ⑥活力ある職場づくり・メンバーへの動機付け ⑦マネジメントスキル強化と自己啓発目標の設定	管理者・ リーダー および その候補者	産業能率大学 (漆田 隆司 氏)	2日コース 11月1日(水)~2日(木) 9:00~17:00 (7時間×2日間)
9	新規顧客開拓実践セミナー ■自社の商品・サービスを踏まえた上で、新規顧客開拓のための 考え方・手法を学ぶ ①新規攻略対象の見極め ②新規顧客への提案方法 ③新規開拓の営業モデルづくり ④新規攻略活動の計画づくり	営業担当者	産業能率大学 (漆田 隆司 氏)	2日コース 平成30年 2月20日(火)~21日(水) 9:00~17:00 (7時間×2日間)

■定 員：各講座とも**24名**(先着順)

■会 場：協同組合八戸総合卸センター 大会議室(組合会館2階)

■受講料：**[2時間コース 2,000円] [半日コース 6,000円] [1日コース 10,000円] [2日コース 20,000円]**

※受講料は税込み価格。当卸センター組合員企業は上記の**「半額」**となります。

お申し込みは協同組合八戸総合卸センター事務局まで (TEL 0178-28-0311)

新任のご挨拶 田湯事務局長

この度、協同組合八戸総合卸センターに4月1日付で赴任しました、事務局長の田湯俊行です。

前職は、本年3月末まで八戸市庁まちづくり文化スポーツ観光部に在籍し、「ブックセンター」の立ち上げ、「新美術館」の整備の他、中心市街地活性化基本計画の事業推進、南郷アートプロジェクト等の文化事業等に携わっておりました。

当協同組合につきましては、組合員数73社、従業員数約2,000名の規模を誇り、北東北の商流・物流の拠点としてライフラインを支えているとともに、地域経済の牽引役として重要な役割を担っていると認識しております。

赴任にあたり、当協同組合を構成している各企業が、地域と共に歩む商流・物流の拠点として一層の発展を遂げるよう、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合

員のための各種共同事業の推進に一生懸命取り組んで参ります。

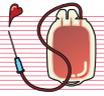
今後は、皆様のご協力をいただきながら、円滑な運営に心がけて参りますので、よろしくご指導を賜りますようお願いいたします。

協同組合 八戸総合卸センター
事務局長 田湯 俊行



趣味は珈琲を楽しむことです。毎朝、弘前から取り寄せた珈琲豆を挽き、ハンドドリッパーで楽しんでいます。また、収集したカップは40客ほど。今はブックセンター職員に珈琲の淹れ方も指導しています。

献血運動実施



青森県赤十字血液センターの献血バスによる献血活動が2月23日(木)実施され、肌寒い天候の中26名の方に400ml献血のご協力をいただきました。また、3名の方には骨髄登録のご協力もいただきました。

ありがとうございました。



美化・緑化コンクール 応募要項

環境対策委員会(中村昌嗣委員長/エスティイー株)では、卸センター内の景観・環境整備を推進するため今年も「卸センター美化・緑化コンクール」を開催します。ぜひご応募ください。お申し込みは組合事務局まで。

応募期間：6月1日(木)～8月31日(木)

応募基準：各事業所の敷地内及び隣接する歩道・植樹樹を花壇・フラワーポッド・グリーンカーテン・樹木の植栽等で美化・緑化に努めていること

提出書類：①コンクール申込書 ②写真(1～2枚)

審査：環境対策委員会による書類及び現地審査

表彰：理事長賞1社・環境対策委員長賞1社
優秀賞(フラワーポッド部門・花壇部門・写真部門)各1社

※5月中旬頃、希望者には花苗を配布予定です。

組合カレンダー (主な行事等)

日時	行事名
4月25日(火)	第12回安協定時総会
5月9日(火)	組合役員会 ※昼食会は開催しません
5月13日(土)	OJTを推進する！ コーチングセミナー
5月25日(木)	第49回通常総会 (14時～・組合会館 大会議室) 懇親会 (18時～・八戸ワシントンホテル)
6月7日(水) ～8日(木)	平成29年度 新入社員研修
6月19日(月)	組合役員会・昼食会
7月12日(水)	仕事の価値を高める！ コストの「見える化」セミナー

編集後記



会報Vol.25で会報に関するアンケートを実施したところ、1名様より「会報を楽しみにしています」というメッセージをいただきました。また、ある方からは激励を含め『読みたいなる社内報を作るための8つの視点』という雑誌記事を頂戴しました。とても嬉しかったです。この紙面を借りましてお礼申し上げます。

さて、その雑誌記事に「社内報制作スタッフとは、経営上層部が認識している会社が抱える問題と、現場でない分からない社員が抱える問題とのギャップを認識・把握して、それを解決するためのクスリ(=社内報)を処方できる、いわば「ドクター」のような存在」という一文が…。これはハードル高い！と思いつつ、その後に「つまらない社内報のアンケートは、人気のないアイドルグループのセンターを決めるようなものでしかない」という一文を見つけ、妙に納得しました。まずは一つでも読みたいなるような記事を掲載できるよう「楽しみつつ、もがきたい」と思います。

編集責任者：協同組合八戸総合卸センター事務局
担当 関本 祐幸

TEL:0178-28-0311 FAX:0178-20-5599